

うきたむ考古通信

2024年2月号

■発行者 うきたむ考古の会
事務局 山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館 内
〒992-0302 山形県東置賜郡高島町安久津2117
電話0238-52-2585 Fax 0238-52-4665

展覧会のご案内

●重要文化財「山形県押出遺跡出土品」追加指定資料公開

1月19日（金）～3月17日（日）

テーマ展「古墳時代から中世の考古資料」を開催している企画展示室の一部を使って令和2年9月30日に追加指定を受けた押出遺跡出土品の内から土器や石器、木製品など67点を展示しています。一昨年 of 県指定有形文化財考古資料「お花山古墳群出土品」の展示、昨年 of 同じく県指定有形文化財考古資料「俵田遺跡祭祀遺構出土品附木製品残欠一括」の展示に続く第3弾として、山形県文化環境スポーツ部博物館・文化財活用課によって企画・展示されました。寒い期間の展示となりますが、会員の皆様もぜひ御覧になってください。





展示コーナー全景

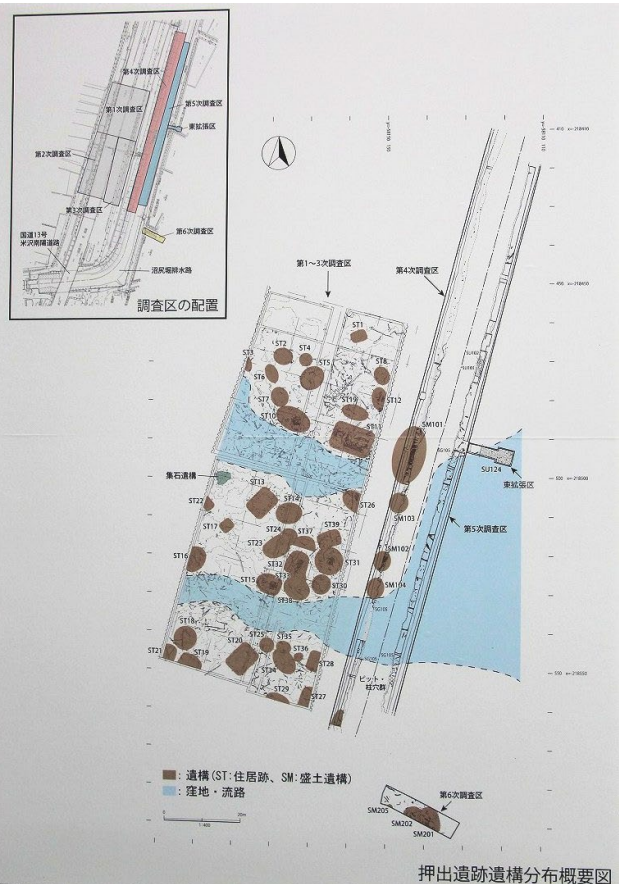
おんだし いせき 押出遺跡について

押出遺跡は、山形県南部にあたる置賜盆地の北部、東置賜郡高畠町大字深沼字押出に位置する縄文時代前期後半の集落跡です。遺跡を含む白竜湖周辺一帯は、「大谷地」と呼ばれる泥炭湿地帯が約 1,000ha にわたって広がっています。

昭和 60 年から 62 年にかけて国道 13 号線米沢南陽道路建設に伴う発掘調査（第 1～3 次調査）が行われ、調査の結果、地下約 2m の深さに遺構・遺物が包蔵されていることが明らかとなりました。

遺構では住居跡 39 棟、集石遺構 1 基が見つかり、なかには「転ばし根太」と呼ばれる丸太材を敷き詰めた基礎をもつ特殊な住居群も確認されました。

押出遺跡位置図





11号住居跡全景（転ばし根太検出状況）



第1～3次発掘調査状況

重要文化財への指定

押出遺跡が位置する泥炭湿地帯は、豊富な地下水の影響により、植物などの有機物の分解が進みにくいため、遺跡からは土器・石器とともに通常の遺跡では出土することの少ない木製品や漆製品、編物、クッキー状の炭化食物、種子などの有機質遺物が数多く見つかりました。

出土品の中でも特に目を引くのは、「彩漆土器」と呼ばれる赤漆を表面に塗った土器です。なかには黒漆で渦巻文様を描いたものもあり、完全な形に復元できたものが6個体、他に破片が数点出土しました。この他にも、漆塗りの櫛や木製皿が出土しており、縄文時代前期に高水準の漆工技術が存在したことが明らかとなりました。

これらの出土品は、低湿地に営まれた遺跡の生活実態を示すとともに彩漆土器を生み出した当時の技術水準を裏付ける貴重な資料であることから、出土品のうち1,057点が「山形県押出遺跡出土品 附 漆附着土器残欠 彩漆土器残欠」として平成8年6月27日に重要文化財に指定されました。



彩漆土器



炭化食物



漆塗木製品

第4～6次と調査と追加指定

平成23年から27年にかけて、国道13号線米沢南陽道路に併行する排水路の護岸工事及び高速道路建設に関連する排水路工事に先立ち、総面積約1,900㎡にわたって第4～6次となる発掘調査が行われました。

調査の結果、盛土遺構8基が確認されたほか、遺物では全国的にも例のない瓢形の彩漆土器（第6次調査）が出土しました。また、第1～3次調査と同様、土器や石器とともに、木製品・炭化食物・漆塗製品などの多種多様な有機質遺物が出土しました。

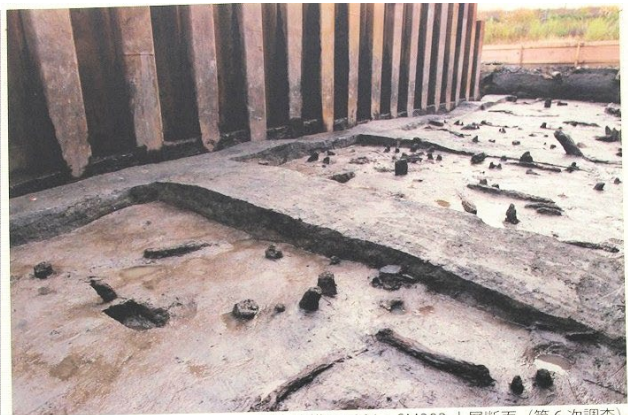
これらの第4～6次調査で出土した資料は、「出土品の中には、他に類例のない瓢形の彩漆土器や、赤漆塗製品、クッキー状の炭化食物など、第1次から第3次調査の資料を補完する資料が出土しており、同遺跡出土品の総体を学術的に評価するうえで欠かせない。」として、第4～6次発掘調査出土品のうち458点、附98点が令和2年9月30日に重要文化財に追加指定されました。



盛土遺構（転ばし根太検出状況）



彩漆土器（第6次調査出土）



盛土遺構 SM201・SM202 土層断面（第6次調査）



彩漆土器出土状況（第6次調査）



縄文土器



漆附着土器

土製円板



石槍

石鏃



石鏃

石匙



削器



異形石器



磨製石斧



石製品



礫石器



礫石器



木製容器



筒状木製品



炭化食物(クッキー)



縄

国道13号南陽バイパスの建設工事に伴う押出遺跡の昭和60～62年度の1～3次発掘調査の出土品は、低湿地に営まれた遺跡の生活実態を示すとともに彩漆土器を生み出した当時の技術水準を裏付ける貴重な資料であることから、出土品のうち国所有の彩漆土器の完形品6点と残欠4個分が「彩漆土器 附 彩漆土器残欠 山形県押出遺跡出土」として、その他に1,057点が「山形県押出遺跡出土品 附 漆付着土器残欠 彩漆土器残欠」として平成8年6月27日に重要文化財に指定されました。また、平成23・24年度には沼尻排水路の護岸改修に伴い第4・5次調査が、そして平成27年には東北中央自動車道建設に伴う水路付け替え工事によって第6次調査が行われました。第4～6次調査で出土した資料は、「出土品の中には、他に類例のない瓢形の彩漆土器や、赤漆塗製品、クッキー状の炭化食物など、第1次から第3次調査の資料を補完する資料が出土しており、同遺跡出土品の総体を学術的に評価するうえで欠かせない。」として、第4～6次発掘調査出土品のうち458点、附98点が令和2年9月30日に重要文化財に追加指定されました。

これらの国指定となった出土品は国保有も含め、すべて当館収蔵庫で保管されていますが、展示は一部に留まっております。なかなか公開できない状況にあります。この際ですから、ぜひ御覧いただきたいと思っております。



2023年度山形の考古資料検討会 開催要項

(山形考古学会 研究大会)

令和5年度に県内で行われた発掘調査や、これまでに発掘された資料についての報告と検討を行います。

1. 名 称 山形の考古資料検討会
2. 開催期日 令和6年2月10日(土) 午後1時30分から午後4時00分
3. 開催趣旨 令和5年度に県内で行われた発掘調査やこれまでに発掘された資料について関心を高めるとともに、考古学の進展、文化財保護の気運の醸成をはかることをねらいとして開催するものである。
4. 会 場 山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館 研修室
5. 主 催 山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館
6. 共 催 山形考古学会
7. 内 容

〈基調報告〉

「2023年度県内の発掘調査の概要」

山形県観光文化スポーツ部 博物館・文化財活用課

〈調査報告〉

「舘山城跡」	米沢市教育委員会	佐藤公保 氏
「南森遺跡」	南陽市教育委員会	斉藤紘輝 氏
「大在家遺跡」	高畠町教育委員会	水口 哲 氏
「中洗2 遺跡」	(公財) 山形県埋蔵文化財センター	齋藤 健 氏
「材木遺跡」	山形考古学会会員	三澤裕之 氏

参加費： 500 円

東北情報館



『重要文化財「山形県押出遺跡出土品」

追加指定資料公開』

入館料 一般／200円 大学生／100円 高校生以下／無料

1月19日～3月17日 うきたむ風土記の丘考古資料館 TEL: 0238-52-2585



コレクション展『戦国武将、手紙を書く』

入館料 一般／420円 高・大生／220円 小・中生／110円

2月10日～3月10日 伝国の杜米沢市上杉博物館 TEL: 0238-26-8001



特別企画展『旧石器×ハンター』

入館料 一般／460円 高校生／230円 小・中生／110円

1月16日～3月10日 地底の森ミュージアム TEL: 022-246-9153



エントランス企画展『福島市の古墳時代』

入館無料

12月16日～3月17日 じょーもぴあ宮畑 TEL: 024-573-0015



企画展『伊達市発掘調査速報展—長倉館跡—』

入館料 一般／210円 小・中・高生／100円

1月20日～3月31日 伊達市保原歴史文化資料館 TEL: 024-575-1615



企画展『戦後ふくしまの考古学2—高度成長期の発掘調査—』

入館無料

1月20日～3月10日 まほろん TEL: 0248-21-0700



『縄文時代のモノづくり』

入館料 一般／300円 高・大生／200円 中学生以下／無料

1月13日～3月17日 一関市博物館 TEL: 0191-29-3180